

商店街をもっと見る。もっと知る。

京都商店街新聞

KYOTO SHOPPING DISTRICT PRESS

2026.7 Vol.23

発行：京都府商店街振興組合連合会
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東
入面谷鈴町 78 (京都経済センター3 階)
TEL：075(342)0301 FAX：075(342)0302
URL：https://syouren.or.jp

CONTENTS

インタビュー：新大宮商店街振興組合 / 商店街の取り組み / 総会報告 / みやこ仙木普及促進事業
観光事業者向けマナー啓発フレーズ集 / 京都発企業の魅力探訪 / and more…

次号予告 2026 年 9 月末発行

商店街インタビューほか



新大宮商店街振興組合
代表理事 寺本 健史さん

懐かしさも、新しさもある 京都で一番長い商店街

大徳寺東側に位置し、約1キロの長さを持つ新大宮商店街。地域の方々をはじめ、学生や観光客にも親しまれるこの商店街の魅力や取り組みについて、寺本代表理事にお話を伺いました。



商店街が発足する前の
昭和32年(1957)頃

商店街のはじまりから 現在の姿へ

北大路通から北山通まで、大宮通沿いで多くの店舗が軒を連ねる新大宮商店街。大徳寺や今宮神社の歴史文化が息づく紫野の地で、地域の暮らしを支える商いの場として発展してきました。商業団体としての歩みは昭和初期に始まったとされ、食料品や日用品を扱う店舗が集まり、地域に欠かせない買い物の場として親しまれてきました。また、織物のまち・西陣とも関わりがあり、周辺には機織りの工房も多く、職人の方々も利用されるなど、地域の産業や暮らしと深く結びつき発展してきた側面もあります。昭和38年(1963年)には振興組合として発足し、地域住民の生活を支える商店

街として発展。数々のイベントや事業などを通じて、多くの人が集い、交流を育む場にもなっています。

多くの店舗に共通する特徴と商店街の特色

かつては、商店街を訪れ、店主との会話を楽しみながら夕食の献立を考え、メニュー決める光景が日常的にありました。しかし、時代の変化とともに消費者のライフスタイルも変わり、現在では飲食店の割合が増え、利用者層も高齢者が中心となっています。それでも「お客様との対話を大切にし、要望に合わせた提案を行う」という対面販売ならではの精神は、今も多くの店舗でみられ、リピーター創出にもつながっていると話いただきました。

また、商店街の特徴の一つが、アーケードを設けていないことだそうです。維持管理の負担を抑えつつ、青空の開放感や季節を感じられる街並みを大切にしてきたとのこと。その象徴ともいえるのが商店街フラッグで、夏は水色、秋はオレンジ色の旗が商店街を彩り、季節感と親しみを届けています。



インタビューを 終えて

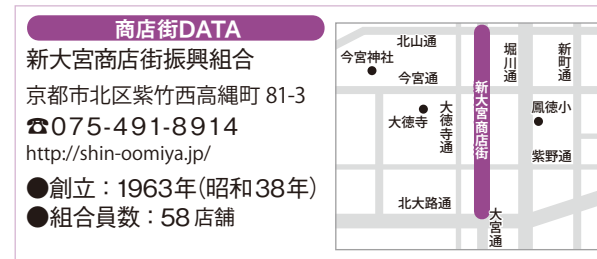
今回の取材を通じて最も印象的だったのは、代表理事の強い責任感です。「次の代に引き継ぐまでに、抱えている問題を一つでも減らしておきたい」と語る代表理事の言葉は、変化を恐れず、それでいて古き良きコミュニティの絆を大切にしようとする温かさが溢れていました。青空の下でなびく色鮮やかなフラッグは、組合員さんたちの地域への愛情そのもののように感じられました。この度はご協力いただきありがとうございました。



商店街のマスコットキャラクター
「みやんちゃん」

大徳寺や今宮神社の近くにあり、多様な店と温かな交流が日常を彩る、魅力あふれる商店街です

地域とともに歩む
京都市最長の
商店街



商店街DATA

新大宮商店街振興組合
京都市北区紫竹西高縄町 81-3
☎075-491-8914
http://shin-oomiya.jp/
●創立：1963年(昭和38年)
●組合員数：58 店舗



夏まつりの様子
(新大宮広場にて)



ハロウィンスタンプラリー

新大宮商店街 とっておきの名店

一部を紹介！

絵本カフェ Mébaé (めばえ)



絵本専門士がいる絵本も買えるカフェ。子どもも親御さんもくつろげる居場所です。

高田米穀店



安全安心のお米を、こだわりの精米技術でお届けする明治創業のお米屋さん。

シャトーブリアン Kasshy



経験と目利きを活かし、希少なシャトーブリアンを手頃な価格で味わえる名店。

京都ビストロ ビュール プレシウーズ



「京料理×フレンチ×健康」をテーマにした創作料理が楽しめる発酵フレンチです。



人が集う、 つながる商店街

新大宮商店街振興組合

地域特性を活かしながら産学連携なども導入し、地域の居場所としての商店街も目指して、さまざまな事業や取り組みが行われています。

地域へさらに還元する 新たなイベントづくり

これまで新大宮商店街では、夏の恒例行事として多くの来場者を集める「北区新大宮夏まつり」を40回も継続して開催してきました。しかし、近年の厳しい暑さや担い手不足なども考慮し、今後はこれまでとは異なる新たな形のイベントを実施しようと検討されています。

この新しいイベントでは、地域への還元をより意識し、来場者や出店者も地元の方々や商店街店舗を中心とした構成内容が計画されています。商店街ならではの人のつながりを活かしながら、地域の皆さんが楽しみ、参加することで新たな交流が生まれるイベントとしても育てていきたい、とお話いただきました。

地域の交流や見守りも兼ねた 商店街の取り組み

さまざまな事業を展開する商店街では、地域とのつながりを深める取り組みにも力を入れています。その一例が、小学校と連携した職業体験の実施です。学校任せではなく、受け入れ店舗の確保から参加者募集、当日の運営まで商店街が担い、継続的に実施できる仕組みづ

くりを目指しています。子どもたちが地域の商いに触れる機会となるだけでなく、保護者の来街も期待でき、商店街全体の活性化につながる取り組みにしたいと代表理事は話されます。

また、買い物を通じて地域を支える「新大宮ふえるかポイントカード」(プリペイド機能付)にも取り組んでいます。利用すると5%のポイント還元があり、1ポイント1円で使えるほか、地域応援ポイントも貯まり、PTAや社会福祉協議会、自治連合会などへの寄付も可能です。さらに、一定期間利用がない高齢者への安否確認につながる「お尋ねシステム」の仕組みも用意しているなど、商店街は買い物の場にとどまらず、日常の中で地域を支える役割も担っているといえます。



「新大宮
ふえるかポイントカード」

地域からも愛される、 人が集う商店街へ

新大宮商店街では、単なる買い物の場ではなく、地域の人々が集い、交流できる「まちの居場所」としての商店街の姿も描かれています。時代とともに商店街を取り巻く環境は変化していますが、店主とお客様とのつながり、顔の見える関係性という商店街ならではの魅力大切にしています。

また、商店街では、会員から預かった会費を地域や店舗へ還元することも重要視しており、理事会でも会員の声を取り入れながら、より多くの店舗に「参加して良かった」と感じてもらえる商店街づくりを進めていくそうです。

お店のユニークな取組みや工夫をご紹介します

店舗Pick Up! 商店街図鑑⑩

新大宮商店街
振興組合

一般客から飲食店まで支持される鶏肉店の理由

郡鶏肉店



新大宮商店街で創業50年を迎える「郡鶏肉店」。開店以来、客足が途絶えることのない地元の人気店で、遠方からの常連客も



生肉だけでなく焼き鳥なども人気。常に新商品を開発中

少なくありません。さらに、一般客だけでなく、市内の飲食店からの仕入注文も多いといいます。

その理由について「お客様一人ひとりに合わせたものを、できる限り安定して提供すること」と店主は言います。良い品を仕入れるため朝早くに発注もしているそうです。また、飲食店には注文傾向を跳んで先回りした仕入れを行うなど、細やかな気配りも欠かしません。

扱うのは鳥根の大山や京丹後の地鶏など。生肉はもちろん、昔ながらの唐揚げや焼き鳥、ミンチカツも人気で、定番品に加え新商品づくりに余念がありません。価格高騰が続く中でも、営業努力で値段を抑える工夫を重ねてきたことも支持される理由だといえます。

☎075-493-1002
営業 / 11:00~18:30
定休 / 日曜・祝日

Instagram
はこちら

「本×カフェ×ギャラリー」で客層を広げる

彩文堂



新大宮商店街で家族経営をする「彩文堂」。五島夫妻が営むこの店は、単に本を売るだけでなく「人と人をつなぐ場所」というコンセプトを軸にしています。特徴的

なのは、品揃えの独自性。リトルプレスや個人出版、ZINEを中心にスタートながらも、家族による選書が、結果的に幅広い世代に対応した選書となり、さまざまな世代のお客様が訪れるきっかけになってます。また、お客様の声に応じた取り寄せなど、御用聞き型の対応も継続来店を支えています。

さらに、もう一つの工夫が業態の複合化です。書籍販売に加え、ギャラリースペースやカフェも併設。来店動機を複数持たせることで、本を目的としない客層も取り込んでいます。カフェのスイーツは、娘さんが考案し、利用者からも好評です。家族経営ならではの役割分担も収益の柱を増やす要因といえます。



ギャラリースペースやカフェも併設。様々な客層を取り込んでいます

連絡先 / info@saibundo.jp
営業 / 11:00~18:00
定休 / 火~木曜

Instagram
はこちら

取材・文＝京都外国語大学
シ・コウチ (国際貢献学部 グローバルスタディーズ学科)
タン・シュージン (博士前期 (前)言語文化 観光文化研究)

第81回 京都商店連盟 定時総会 第57回 京都府商店街振興組合連合会 通常総会

全議案を全会一致で可決

京都商店連盟および京都府商店街振興組合連合会の総会を5月29日(金)、京都東急ホテルにて開催し、令和7年度事業報告・会計報告ならびに令和8年度事業計画などの各議案について、すべて全会一致で可決されました。

まず、京都府商店街振興組合連合会の通常総会では、理事長の挨拶に始まり、令和7年度事業報告として、京都府商店街創生センター事業や京都府新しい商店街づくり連携支援事業、ならびに収支報告が行われ、いずれも承認・可決されました。続いて令和8年度事業計画では、本会直轄事業、個店経営支援、商店街のまちづくり活動支援および事業活動支援、福利厚生に関する事業など幅広く活動していくことが議決されました。

次に、京都商店連盟の定時総会では、令和7年度事業として、地域課題解決コミュニティ活性化事業、地域商業活性化・物価高騰対策事業、商店街に関わ

る人材育成交流促進事業、地域商業新展開支援事業、商店街エネルギー環境整備事業などの実施状況が報告され、あわせて会計報告が審議・承認されました。また、令和8年度の事業計画として、商店街の個店経営支援、商店街のまちづくり活動支援や事業活動支援の取組も議決されました。

なお、本総会では、(株)成岡マネジメントオフィスの成岡秀夫氏を講師に迎え、「いまのデジタル社会だからこそ商売の原点に立ち返る～アナログに回帰して顧客に寄り添う～」をテーマとした講演会も開催。来賓として京都府知事および京都市長よりご挨拶をいただいたほか、多くの関係者からのメッセージや祝電も寄せられました。

当連盟・当会といったしても、国・京都府・各市の商店街支援施策の積極的な活用を促し、よりきめ細やかな支援を強化するとともに、商店街活性化に努めてまいります。



西脇 隆俊 京都府知事



松井 孝治 京都市長

来賓の京都府知事、京都市長からごあいさつをいただきました



成岡秀夫氏を講師に迎え、講演会が開催されました



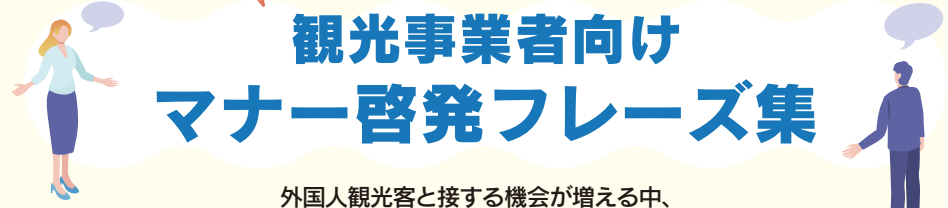
令和8年度 京都商店連盟新役員名簿

役職名	氏 名	所属商店街名
会 長	上田照雄	京都三条会商店街振興組合
副会長	北村典生	祇園商店街振興組合
副会長	木村浩之	京都駅近鉄名店街商店街振興組合
副会長	浅野雄祐	伏見大筋商店街振興組合
副会長	亀井邦彦	四条繁栄会商店街振興組合
副会長	岡本喜雅	新京極商店街振興組合
副会長	谷口仁一	河原町グリーン商店街振興組合
副会長	洞本昌哉	ゼスト御池会
常任理事	公文一喜	北山街協同組合
常任理事	桂 浩一	北野商店街振興組合
常任理事	木村裕一	鶴原商店街振興組合
常任理事	中川敬逸	ラクセス商店会
理 事	山本達也	北大路商店街振興組合
理 事	乾 雅智	堀川商店街協同組合
理 事	若林久朗	商店街振興組合寺町会
理 事	初田信行	京都錦市場商店街振興組合
理 事	丹治 潔	七条商店街振興組合
理 事	岡本健志	祇園錦手繁栄会
理 事	佐々木浩二	納屋町商店街振興組合
理 事	森 一 起	竜馬通り商店街振興組合
監 事	早師 洪	吉祥院商店会
監 事	浅井正廣	花遊小路商店街協同組合

(順不同敬称略)

京都市

商店街のみなさまご活用ください



外国人観光客と接する機会が増える中、「うまく伝わらず、困った経験がある」という方も多いのではないのでしょうか。「食べ歩きをしないでください」「順番にご案内します」など、商店街や店舗でもよく使われそうなマナーやルールの一言について、英語・中国語でまとめた24のフレーズを作成しました。このカードを提示したり、切り取って暗記カードにしたりと、使い方もさまざま。使い方を解説した動画も公開されているので、ぜひご覧ください。



ダウンロードや動画
詳細情報はこちら

https://www.kyokanko.or.jp/communication_phrases

問合せ先

京都市産業観光局観光MICE推進室
☎ 075-746-2255

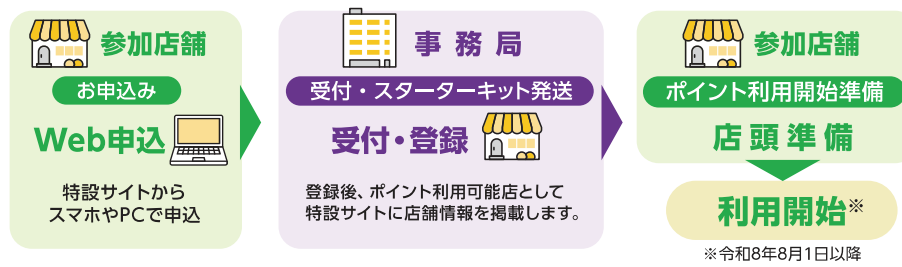
京都市

市民生活応援 デジタル地域ポイント給付事業



京都市では、継続する物価高に対する市民生活の応援と市内での消費喚起・地域経済の活性化のため、国の「重点支援地方交付金」を活用し、京都市公式アプリとマイナンバーカードを用いて、令和8年8月1日から市民1人につき5,000円相当の「京都ポイント(きょうぽ)」(京都市デジタル地域ポイント)の給付を開始します。本事業へ御参加いただく店舗(京都ポイント(きょうぽ)の利用が可能となる店舗)を以下のとおり募集しています。

参加店舗
募集中!



参加店舗 3つのメリット!

登録 無料! 機器設置 不要! 精算(月2回)手数料 なし!

特設サイトの申込フォームからお申込みいただけます

特設サイトはこちら▶

<https://kyopo.city.kyoto.lg.jp>

参加店舗の登録に関するお問合せ

京都ポイント(きょうぽ)参加店舗事務局
☎0570-036-352

京都市公式アプリのダウンロードはこちらから

iPhoneの方は
こちら▶



Androidの方は
こちら▶



本事業に集じた詐欺に御注意ください!
京都市職員等関係者が、マイナンバーや個人情報、暗証番号などを伺うことや通帳、キャッシュカードを受け取ることは絶対にありません!

京都市

補助金を
活用して

商店街のみなさまに朗報! / あなたの店舗をステキな木の空間に!



令和7年度の施工事例

令和8年度『みやこ仙木(そまぎ)普及促進事業※』では、京都市内の店舗や住宅等に市内産木材を使用される方を支援します。

※『みやこ仙木普及促進事業』とは、市内の建築物等でみやこ仙木を利用し、木の魅力の発信に御協力いただける方を対象とする補助制度です。京都府が実施する「ひろがる京の木整備事業」補助金の御利用を予定されている方も申請ができます。

募集期間 令和9年1月15日(金)まで

区分	補助対象経費	補助金額等
店舗等	みやこ仙木を購入するのに要した費用	・補助率:2分の1以内 ・補助上限額:160万円
	みやこ仙木製品(家具など)に要した費用	※みやこ仙木製品の購入に対する補助額は、みやこ仙木の購入に対する補助額を超えないものとする
住宅等	みやこ仙木を購入するのに要した費用	・補助率:2分の1以内 ・補助上限額:16万円

申請をお考えの方へ

申請の手続き、各種書類のダウンロード
<https://miyakosomagi-e.net/hojo/>



申請前に必ず実施要領と募集要項をお読みください。

お問い合わせ 京都市域産材供給協会 「みやこ仙木(そまぎ)普及促進事業」
京都市右京区京北細野町瀬ノ向6-2(京北銘木生産協同組合内)
☎075-585-5205 (時間:土日・祝日を除く 9時00分~16時30分)

みやこ仙木(そまぎ)とは 京都市では、京都市内の森林から合法に伐採された木からできた製材品や合板を、「みやこ仙木」として認証する制度を設け、木の地産地消を進めています。



京都発企業の魅力探訪

第10回 株式会社 Fujitaka

全国で活躍する京都発祥の企業は数多く存在しています。商店街のインフラを支える事業をはじめ、さまざまな分野で事業展開されている株式会社Fujitaka様に、今後注目される店舗インフラや商店街の可能性など、貴重なお話を高井社長と正岡部長にお聞きしました。



代表取締役 高井 茂行さん

Fujitakaさんの事業内容や特徴について教えてください



大正時代に商店の陳列什器やショーウィンドウづくりから始まり、現在は「お店づくりをサポートする会社」として、多種多様な製品を製造・販売しています。万博でも採用された「入退場ゲートシステム」をはじめ、「券売機」「冷蔵ショーケース」「喫煙ブース」「コインパーキング」「コインランドリー」など、省人化や効率化につながる製品とサービスも提供しています。

Fujitakaさんの強みはどこにありますか?

店舗や施設に必要な設備を製造・販売するだけでなく、お客様のニーズに合わせて企画から設計・製造・施工、メンテナンスまで一貫して対応できる点かと思えます。長年培ってきた店舗づくりの経験や技術力を活かし、省人化・自動化の分野でも進化を続けています。近年では、キャッシュレス化や無人化など、時代に合わせた新しい店舗運営の形を提案していることも特徴です。



商店街との関わりや 商店街での事業について教えてください

私たちは、全国の商店街様のアーケード整備を中心に、長年商店街づくりに携わってきました。アーケード本体から、照明、防犯設備、ベンチやモニュメントまで、商店街空間を構成するすべての設備を設計から施工、メンテナンスまで請け負っています。地域の歴史や特色を大切にしながら、商店街の魅力向上と価値創出につながる提案を行うことが私たちの役割です。とくに京都では、景観や建築規制への配慮が必要なため、地域特性を踏まえた街づくりを進めています。

お店や商店街にとって、今後重要になると思われることはありますか?

人手不足が進む中、店舗経営では少ないスタッフでも運営できる仕組みづくりがますます重要になり、省人化やキャッシュレス化への動きがさらに進んでいくものと考えています。商店街においては、アーケード維持などに大きなコストがかかるため、組合費や補助金だけに頼らない、新たな収益構造づくりも必要かと思えます。広告収入や駐車場、コインランドリー経営など、商店街自身が収益を生み出す機能を持つことも、今後重要になってくるのではないかと思います。



注文された製造待ちの「紙雪機」
水や果汁を入れるだけで、ふわふわかき氷を実現



Fujitakaさんからみた商店街の魅力や可能性とは?

私たちにとって、商店街は「ともに歩んできた存在」であり、これからも「一緒に未来を考えていく存在」です。地域の歴史や人とのつながりがあるのも大きな魅力である一方、古き良き価値を守りながらも、時代に合わせた新しい変化への対応に苦労されていることも実感しています。私たちは行政や地域と連携しながら、設備提供だけでなく街づくりの視点を持って商店街の未来づくりに貢献していきたいと考えています。

株式会社 Fujitaka
ホームページ
はこちら



株式会社Fujitaka
京都市下京区東塩小路町606 三旺京都駅前ビル7F
TEL: 075-371-9900 (代表・コールセンター)

